

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	12	0401	交通安全推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-4	日常生活の安全確保			
	施策	3	交通安全の推進			
目的	交通安全の推進					
対象	市民					
意図	市民の交通安全意識が高まり、交通事故が減少する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○交通指導員による街頭指導、交通安全教室の開催 ○交通安全関係団体への支援						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				○事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	街頭指導、広報活動回数	回	計画	6,250	6,300	
			実績	5,871	5,853	
②	交通安全教室開催回数	回	計画	195	195	
			実績	206	219	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	交通安全教室参加者数	人	目標	15,500	16,000	
			実績	14,912	16,622	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 交通事故のない安全で安心なまちづくりのため、交通安全教室を実施し交通安全意識の高揚を図っている。 目標値は、過去の実績を参考に設定した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	安全で安心なまちづくりのために、市が主体となり関係団体と協力しながら取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	児童や高齢者を中心に交通安全意識を高めるための啓発活動を充実させる必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	交通指導員の報酬は、出勤回数によるものが多く、活動回数をこれ以上削減することは難しい。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	全市民を対象としているため公平である。全市民を対象としているため公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
交通事故のない安全で安心なまちづくりのため、関係団体と連携して街頭啓発活動、交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚を図る。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	02	01	12	0401	交通安全推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		23,278	23,472		194
財源内訳	国・県	3,116	3,089		△ 27
	地方債				
	その他	343	441		98
	一般財源	19,819	19,942		123

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	-------------------------------	-----------------

部経営方針における目標

市民の安全安心な暮らしのため、日常生活の悩みや問題を解決できる相談窓口の充実と交通安全・防犯活動の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

交通事故のない安心して暮らせる住みよいまちづくりを推進するため、交通安全意識の高揚を図る。

事業概要

- 交通指導員による街頭指導、交通安全教室の開催
- 交通安全関係団体への支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

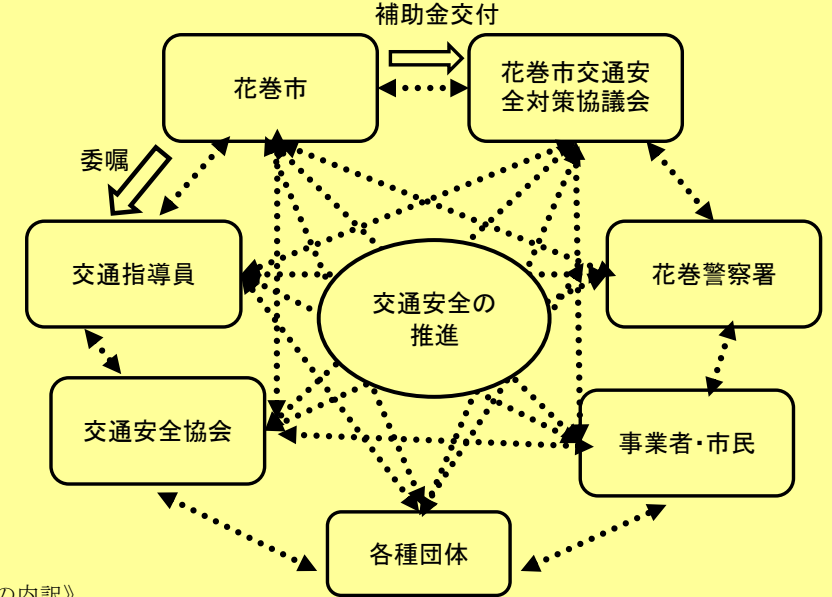
子供と高齢者の交通事故防止が重要。

担当部署 部名 市民生活部 課名 市民生活総合相談センター 担当係長 似内 庄治 内線 254

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ・交通指導員街頭指導（交通指導員79名 延べ5,169人）
- ・交通安全教室（延べ219回）
- ・交通指導車による広報活動（延べ684回）
- ・交通事故相談（13件）
- ・交通災害共済手続き（67件）
- ・交通安全関係団体への負担金・補助金交付等



《経費の内訳》

科目（節名称）	内訳・積算
1 報酬	交通指導員報酬 1,328千円、出動手当14,174千円、交通安全専門員報酬1,790千円
4 共済費	社会保険料等 264千円
7 賃金	作業員賃金 68千円
9 旅費	費用弁償 104千円
11 需用費	消耗品費 426千円、燃料費 193千円、修繕料 333千円、貸与被服費 761千円
12 役務費	手数料 51千円、保険料 61千円
19 負担金補助金及び交付金	岩手県市町村総合事務組合負担金 169千円、岩手県交通指導隊連絡協議会負担金 29千円 交通安全母の会連合会補助金 400千円、花巻地区交通安全協会補助金 1,300千円 花巻市交通安全対策協議会補助金 2,000千円
27 公課金	自動車重量税 21千円